

7.1 序

八幡地区は、古くから文化伝承の地として、歴史的にも多くの資料が保存されてきました。日本三薬師の一つの法海寺、堀之内城跡、堀田家文書等の史実にもとづくものが多く、貴重な物件が残っております。また、これらのほかに、伝承的文化ともいうべきものも数多く伝えられてきました。

この度、八幡地区の有志の方々が集まられて、この地区に古くから語り継がれてきた伝説や民話を始めとして、各方面の資料が集められて、ここに「八幡の語り草」として発刊されることになりました。これは、誠に意義深いことと存じますと共に、編集に当られた皆様のご苦勞に、心から敬意を表する次第であります。

知多市は、名古屋南部臨海工業地帯の造成を端緒として、一大躍進をいたしました。地区によっては、全く昔日の面影の一片すらも偲べない程の発展変貌ぶりを示しています。また、社会現象からの人口増も極めて顕著なものがあります。この発展は、今後も、ますます着実な足取りを進めていくものと存じています。

こうした折に、昔日のこの土地のあれこれを物語風にまとめて出版されたことは、その意義も深く、また、貴重なことであると思っています。折角、まとめられたこの書物が、市民の皆さんに利用され、地についての活躍の糧のひとつにもなれば、誠に幸であると思います。

以上述べまして序にかえさせていただきます。

昭和五十八年十一月三日

知多市教育委員会教育長

(兼知多市立八幡公民館長)

榊原 斉 一